



2024年12月12日

川崎汽船株式会社

川崎近海汽船株式会社

ケイライン・ウインド・サービス株式会社

EK Geotechnical Survey 合同会社

地質調査船「EK HAYATE」のお披露目会実施について

川崎汽船株式会社（以下、「川崎汽船」）と川崎近海汽船株式会社の合併会社であるケイライン・ウインド・サービス株式会社（以下、「KWS」）と EGS Survey Pte Ltd（以下、「EGS」）が、海洋地質調査事業を対象として設立した EK Geotechnical Survey 合同会社（以下、「EKGS」）は、11月25日から5日間にわたり、広島港にて、EKGSが保有する地質調査船「EK HAYATE」のお披露目会を実施しました。

同期間中には、洋上風力発電に関わるお客様だけでなく、CCS（Carbon dioxide Capture and Storage）などに関連した海洋開発・調査・工事に携わる方々、総勢約120名のお客様に、本船やリグ（掘削装置）などの各種調査機材をご見学いただきました。



地質調査を通じて、海底の地下構造を明らかにすることで、洋上風力発電の実施可能な海域を判断し、施設の配置計画や設計を検討することができます。本船は、日本籍の地質調査船として、定点保持装置であるダイナミック・ポジショニング・システム（DPS）や動揺補正機能を



備えた最新のリグを搭載し、土壌のサンプル採取や洋上ボーリングなどを行います。また、甲板上には各種の測定機器からなるラボを備えており、洋上での即座のラボテストが実施可能など、限られた工期の中で、安全かつ効率的な調査環境を提供します。

EKGS は、本船ならびに川崎汽船・EGS 両グループのアセットも活用し、社会のカーボンニュートラル化に向けた洋上風力発電産業の発展に貢献してまいります。

全長	78 メートル
全幅	17 メートル
喫水	6.3 メートル
デッキ面積	750 ㎡
最大収容人数	50 人 (本船乗組員を含む)
船籍	日本
母港	広島県 呉港



KWS について

日本が掲げる 2050 年のカーボンニュートラル社会実現にむけ、急速にニーズが高まっている洋上風力発電関連の作業船・輸送船に関わるビジネスプラットフォームとして、2021 年に設立されました。川崎汽船グループの船隊を活用しつつ、その他の各種作業船への取り組みも強化し、洋上風力発電産業の発展に寄与することを目指します。

EGS グループについて

欧州、アメリカ、アジア、オーストラリアなど、世界各地に拠点を持つ、1974 年設立の海洋地質調査会社です。再生可能エネルギーをはじめとし、石油やガスなどの海洋インフラ開発のための地質調査サービスおよびソリューションを提供しており、海洋調査に関連する幅広い分野での専門性を有しています。日本近海においても、海底電話線敷設向けの調査実績が数多くあります。

【参考リリース】

2024 年 10 月 3 日付：海洋地質調査事業会社の設立と地質調査船「EK HAYATE」の就航

https://klinewind.jp/pdf/press_release_20241003.pdf

【本件に関するお問い合わせ先】

ケイライン・ウインド・サービス株式会社

事業部長

道嶋 紘靖

TEL: 070-3069-3637